

令和6年度 第1回 稲沢市図書館協議会 議事録（要旨）

- 1 日 時 令和6年5月21日（火） 午後2時から午後3時40分まで
- 2 場 所 稲沢市立中央図書館 研修室
- 3 出席委員 ①小中学校校長会代表 小久保規与子
②小中学校教頭会代表 岸美千代
③図書館ボランティアきらら会代表 田中真由美
④子育て支援関係者 浅野順子
⑤子育て支援関係者 服部祐子
⑥学識経験者 世良清
⑦学識経験者 伊東啓子
⑧学識経験者 鵜飼貢
- 4 欠席委員 窪崎香 鈴木幸江
- 5 会議同席者 教育長 広沢憲治
教育部長 荻須正偉
- 6 事務局 館長 塚本ゆかり 主幹 石川路子 野々部隆明 主査 吉田恵
- 7 傍聴者 なし
- (1) 令和5年度図書館事業実績について
(2) 令和6年度図書館事業計画について
(3) 第3次稲沢市子ども読書活動推進計画について
(4) その他

【開会】

(教育長)

・・・教育長挨拶・・・

協議事項（1）「令和5年度図書館事業実績について」

・・・事務局説明・・・

(委員)

年齢別利用者人数の年齢分類について、60歳以上の利用者の人数が7万5,000人、今の高齢化時代を考えると、一番利用人数が多いという観点から「60歳以上」を「60代」、「70代以上」という分類が可能であれば考慮していただきたい。

(事務局)

図書館システムで年齢別で振り分ける際に、「60歳以上」としてシステムの設定がされている。変更するとなるとシステム改修が必要となるため、若干お時間をいただきたい。対応できるかすぐ

にお答えできない場合もあるため、その点は御了承いただきたい。

(委員)

時間帯別利用者人数、年齢別利用者人数は、入館者に年齢を聞いているのではなく、登録者を機械的に集計しているのか。

(事務局)

入館者ではなく、その時間帯に本を借りた人の利用者登録から年齢や人数を拾っている。

(委員)

曜日別も知りたい。おそらく曜日ごとに増減があると思うので、すいた利用日をアナウンスすることで平準化されるとか、すいた日に行こうとのニーズも出るかと思う。

昨年の秋に名古屋文理大学と連携で講座を実施させてもらった。今年度も計画している。中央図書館だけでなく、祖父江や平和にも行かせてもらえれば、より地域のかたへの貢献となると思う。

大学連携について、私がこの委員をさせてもらうまでは、利用がゼロに近い状態だった。本学になくて市立図書館に本があったことがあって、7件31冊のうち私も1冊か2冊借りたことがある。ぜひ、大学にしかない本が借りられるということを市立図書館の3館でアナウンスできれば良いと思う。

「図書館資料購入」公民館で112冊というのは、総数なのか、どこか1ヶ所の公民館の数か。

(事務局)

曜日別でもデータが出せたと思うので、検討させていただく。

市内には7つ公民館があり、そのうち稲沢東公民館を除いて6ヶ所の公民館に公民館図書室がある。その6ヶ所の図書室で購入した本の合計が112冊。稲沢東公民館は本の貸出と返却は行っているが、公民館に本の蔵書はない。

協議事項(2)「令和6年度図書館事業計画について」

・ ・ 事務局説明 ・ ・

(委員)

国が11月1日を古典の日と平成24年に法律で定めた。これは、各家庭、学校、職場がいろいろな場において、古典に親しむことができるように努めなさいという努力事項であり、幸いにも稲沢市は赤染衛門にゆかりがある。本年度、せっかく大河ドラマ「光る君へ」が放送されているため、古典の日のイベントなり、展示なりを事業計画に加えていただくとありがたい。

(議長)

荻須記念美術館で今年、安野光雅さんの特別展が開催されるため、これと連動した展示等が実施されると、より一層充実してくると思う。

(委員)

平和町図書館は、毎年司書体験のみである。会場の広さ的に難しいと思うが、何か平和町図書館でももう一つやっていただけるとありがたい。親が子どもを自動車に乗せてくれば中央図書館に来

るのは遠くないが、どうしても平和町の住民からすれば、疎外感を感じている。なかなか参加しようとする気にならない。身近であれば、行く気になるかもしれないので、平和らくらくプラザや平和町農村環境改善センターを使って、なにか楽しい企画を平和町でもお願いしたい。

(事務局)

安野光雅展との連携について、すでに美術館の担当学芸員と調整をしている。8月頃に図書館で、著書や特別展について紹介をさせていただく予定。

また、平和町図書館でのイベントに関する要望については、グループリーダーが本日出席しているため、これから考えてもらう。

(委員)

一つ目、12月8日の観望会について、ぜひ、教育長の知見をお話しいただいたり、あるいはなにか本を紹介していただいたり、せっかくなので講話を聞きたい。

二つ目、8月6日の英語で楽しむ会について、本学(名古屋文理大学)の英語の先生で、非常にやさしい授業をされるかたですので、ぜひ、参加していただきたい。第2回を秋頃予定している。

昨年、図書館で著作権の講座させていただいたが、終了後問合せがたくさんあった。おそらくAIやSNSのブームで、著作権について興味があることがわかったので、秋に第2回を予定している。中央図書館研修室を借りるつもりでいたが、市内の他館で場所が取れるのであれば、祖父江や平和にも出張したい。なんらか少しでも貢献できればと思っている。

協議事項(3)「第3次稲沢市子ども読書活動推進計画について」

・・事務局説明・・

(委員)

(第3次子ども読書活動推進計画進行管理表)令和2年度の調査結果は、どこにあるか。

(事務局)

令和2年度はコロナのため調査を中止したため、調査結果はない。

(委員)

保護者に対する読み聞かせ「家読」^{うちどく}の啓発で、「停止・廃止」が4となっている。保育園は、いくつか閉園しているのだからわかるが、学校なので疑問に思った。

(事務局)

今、細かい資料を持ち合わせていないため、後日、説明させていただく。

(委員)

高校生の不読率の推移に関して、市内在住の生徒か、それとも市内に所在する高校の生徒か。

(事務局)

稲沢高校、稲沢東高校、杏和高校の県立3校を対象にアンケートを実施した結果である。

(委員)

学校でも読書が大事ではないかということで、例えば授業の後半に授業を切り上げて図書室に行

き、行けば必ず本を手に取り、手に取ればそれを借りるということで、まずは図書室に連れていく。それだけで子どもたちの読書に対する興味が変わってくる、といった努力をしているところである。学校司書補、図書館担当の教員で、魅力的な図書室、学校図書館を子どもたちがまた来たいと思える環境にするため努力している。

魅力的な図書館にするためには新しい本がほしい。今年、小学校の教科書が変わったので、国語の教科書に出てくる本も買わなければいけない。総合的な学習の時間の調べ学習のためのタブレットも良いが、やはり本は一目瞭然で見ただけで資料がまとまっているので本による資料もほしい。子どもたちが読みたいと思っている本を子どもたちにどんな本がほしいか聞いて決めることもある。私の学校は児童数が少ないので予算があまり配分されない。本があることが魅力的な図書館になることに直結するので、市からのお金以外で、PTAや後援会のお金をやりくりして、なんとか本を買っている状態。

(委員)

それに加え、本の原材料費と物流の関係で、今まで例えば2,700円で買った本が3,000円に値上がりするということもあり、購入できる冊数が確実に減っている。やはり予算が多ければ多いほどありがたい。子どもの学びに直結しますので、ぜひ、お願いしたい。

(委員)

本校も読書活動に力を入れていこうと、どういうことをやったら良いかと先生がたに聞いて考えてみた。学級文庫を充実したほうが良いのではないかと。学級文庫は図書室で廃棄された図書をそのまま置いているが、子どもが一番よく読むのはやはり学級文庫じゃないかと。授業中に早く作業を終わらせてしまう子には「本を読んでも良い」ということで読ませている。本校では学級文庫の充実を考えている。やはり予算のことが問題になる。

もう一つは、読み聞かせボランティアさんが月に1回来て、いろいろな本を読んでもくれる。ボランティアさんが本を紹介してくれるので、私が赴任した頃から少しずつ大型絵本や子どもが興味を持ちそうな本をそろえ始めた。大型絵本は非常に子どもたちの食いつきが良いが、非常に高額であり、また電子化が進んでいるため、大型絵本はもう作っていないとか、書店にお願いしても廃版になっているとか、そろえようとしても難しい。できれば読書を通じて豊かな心を育むということで特色ある教育活動のほうから少し予算を出して本をそろえている。がんばって子どもたちが少しでも本を読む機会が増えるように、本当に読まないなど自分自身も感じているので、なんとかして子どもたちの身近に絵本を置いて、少しでも本を手にとってくれる子どもたちが増えるように試行錯誤している状況である。

(議長)

報告書の中学生や高校生の記述に「どうして本が好きになりましたか」の問いに、「学校のほうで読む機会を作ってもらった」とか、「朝読^{あさどく}」でといった記述があるのを見ると、やはり学校で読書の価値という意識をして子どもに強制的にでも触れさせる時間、機会、それから環境が必要だと思う。もちろん予算が大事であるが。

(事務局)

いろいろな貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。

いただいた意見の全てとは言わないが、かなり第3次計画の中でうたっているところとリンクしており、「学校図書館の整備充実」として、「学級文庫の設置および充実」という取組は、第3次計画から学級文庫の有効性、近くに手に取れる本がある環境を整えるというものを挙げている。これもやはり継続してやっていくべき事業と考えている。先程、各担当の先生、司書補さん、司書教諭のかたが、お努めいただいているという状況を伺い、第3次計画の「学校関係者の意識の向上と魅力あふれる読書指導」という項目の中で、携わっていただいている先生がたの熱心さにはこちらの頭が下がるほどであるが、それ以外の先生がた、学校関係者のかたにも意識を高めていただくことで、魅力あふれる多様な読書指導、あるいは展開を推進していきたいため、継続していく案件と思っており御協力をお願いしたい。

(議長)

では、その基本方針に従って今後策定のほうをよろしく申し上げます。

協議事項(4)「その他」

・・事務局説明・・

(議長)

利用者満足度調査について、以前委員から自由意見を分類、項目立てをしたほうが内容把握の上で非常に良いのではないかと提言があり、今回、スタッフの対応や貸出期間、貸出件数等、項目立てをしてもらい、大変見やすくなった。

稲沢市議会だより5月号に掲載されていたが、栃本議員がこの満足度調査の結果を受けて改善されたことがあるかとの質問をしている。調査した以上、いろいろな利用者の声により改善する方向でぜひ取り入れていただきたいと思う。いろいろな角度からいろいろな意見があり難しい点もあると思われるが、これを基により良い図書館になっていくといいと思う。

(議長)

本日提出されました協議事項につきましては、皆様の御協力により承認されました。

【閉会】

(教育部長)

・・教育部長挨拶・・

(以上)